



# 令和6年度一般会計13億円赤字

## 人件費や物価上昇、大雨、除雪対策費等

令和6年度一般会計 349万8千円です。決算は、歳入797億2808万8千円、歳出782億2388万4千円。前年度と比較すると、歳入は28億7925万8千円(3.7%)の増、歳出は26億4023万9千円(3.5%)の増で、歳入歳出差引額は15億420万4千円の黒字です。この差引額から、翌年度繰越財源3億2070万6千円を控除した実質収支額は11億8千円。統計上、統一的に用いられる「普通会計」(企業会計や国保、介護、後期医療、会計間重複分などを除く)では、令和6年度の実質収支は11億9665万1千円の黒字で、この実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は1080万2千円の赤字です。これに市債の繰上償還金3億7775万円を加え、財政調整基金の取崩し額17億5000万円を差し引いた実質年度収支では、13億7590万8千円の赤字となりました。

### 「実質同一水準ルール」

前年度は3億4635万9千円の黒字で、5年連続の黒字となっていました。6年度の赤字の要因は、給与改定等による人件費や、賃金上昇・物価高による委託料など物件費の増加、7月の大雨災害の復旧経費

0万円を差し引いた実質年度収支では、13億7590万8千円の赤字となりました。

## JA集会で自民党農政厳しく批判

▽8月18日、宮城・山形県議会交流議員連盟総会と研修会。記念講演の他、「担い手確保を目指した農林水産業振興策」分科会に出席。▽19日、仙台市の民間の通信制高校を石川・議員と一緒に視察。中学時不登校の生徒などへの創意ある支援に学ぶところ大。

▽21日、県議会農林水産常任委員会にて質問(詳細は後日報告します)▽22日、県議会子ども支援・若者定着対策特別委員会の意見交換会で質問(同右)

▽22日、県農協中央会・農協農政対策本部主催の「令和7年度食料・農業・地域政策推進山形県要請集会」に来賓として出席(写真)。

農業者の要望を県選出国會議員に直接要請するための集会で、県内各地から約600名が集結。主催者挨拶で中央会会長・対策



本部長の折原敬一氏は、「令和の米騒動で農業が国民の最大の関心事の一つになった。生産現場には不安と不満が拡がっている」と、政府農政を厳しく批判しました。

自民党鈴木憲和農林水産副大臣は、「備蓄米の扱い等御迷惑をかけた。自民党の中でも今の農政ではダメだ」という意見が出ている。自分も同感」等と懸念に言い訳を

していました。

農業と食料にも責任を果たさない自民党政治を変えるたたかいが、県内でも緊急課題となっている事が浮き彫りとなる集会でした。(原議 関 徹)

や、過去3番目に多額となった除雪対策費があります。

しかし国は「骨太方針2021」で、令和4年度から6年度まで、地方財政対策における「実質同一水準ルール」を設け、地方の一般財源総額は前年度と同水準に抑制し、増額を十分保障していません。

「骨太方針2024」でも「実質同一水準ルール」とされ、さらに7年度は「臨時財政対策債」の新規発行ゼロが優先され、必要な一般財源が不足しています。

共産党は、地方の一般財源を抑制するやり方は根本から見直すべきと主張しています。

### 定額減税の補てん

歳入では、市税は、148億6776万8千円で、前年度に比べ6億8133万8千円(4.4%)の減です。

このうち、個人市民税は49億1558万7千円で、定額減税により4億6598万6千円(8.7%)の減、法人市民税は7億7284万8千円で、1008万9千円(1.3%)の増です。

定額減税による個人住民税の減収分は、国から地方特例交付金により全額補てんされて

いますが、所得税の定額減税に伴う地方交付税の減収分は、交付税の繰越金と自然増収で対応するとし、地方の固有財源を使った補てんではなく、全額国費で行うべきです。

固定資産税は69億8953万2千円で、1億6844万9千円(2.4%)の減。寄附金は29億9666万4千円で、ふるさと寄附金の増により、5億4685万8千円の増。

繰入金金は35億9759万8千円で、財政調整基金や減債基金の繰入れなどにより、18億4536万5千円(105.3%)の増です。地方交付税は237億1776万3千円で、4億6万4千円(1.7%)の増。

国庫支出金は113億5178万3千円で、新型コロナウイルス補助金の減などにより、4億8901万3千円(4.1%)の減。市債は58億1820万円で、朝陽第五小学校改築事業や、産業団地開発事業の増などにより、13億320万円(28.9%)の増です。

この結果、自主財源比率は35.2%で0.3ポイントの上昇、地方公共団体の財政力を示す財政力指数は0.410で0.003ポイント低下しました。(2面につづく)

(1面のつづき)

### 給料等の増改定

歳出では、義務的経費の人員費は112億5150万2千円で、給料等の増改定により5億6201万1千円(5.3%)の増、

扶助費は162億9879万8千円で、国の定額減税調整給付金の増などにより9億2339万7千円(6.0%)の増、

公債費は87億2019万6千円で、9億6762万5千円(10.0%)の減、

義務的経費合計では合計では362億7049万6千円で、5億1778万3千円(1.4%)の増です。財政構造の弾力性を示す経常収支比率は97.2%で、前年度より1.7ポイント上昇し、悪化しました。

### 大雨災害の復旧経費

投資的経費は、普通建設事業費は79億4544万4千円で、朝陽第五小学校改築事業や産業団地開発推進事業などにより、

4億2921万1千円(5.7%)の増、

災害復旧事業費は7億2653万2千円で、7月の大雨災害の復旧経費などにより3億3033万8千円(83.4%)の増です。

財政の健全性を判断する指標である実質公債費比率は、7.9%と前年度より0.5ポイント上昇、

将来負担比率は51.5%と8.3ポイント上昇し、悪化しました。

### 病院事業決算10億5千万円の純損失

病院事業決算では、院内病院の入院患者数は12万3349人で前年度に比べ7830人(6.0%)減少し、外来患者数は15万4395人で1万537人(6.4%)減少しました。

### 湯田川温泉リハビリテーション病院の入院患者数は3万6191人

増加し、外来患者数は7558人で458人(5.7%)減少しました。

### 庄内病院の収益的収支では、収入は123

億4914万8千円で、患者数の減少やコロナ関連の病床確保料の皆減により、前年度に比べ3億777万2千円(2.4%)減少。

支出は134億640万5千円で、給与費、委託料、光熱水費の増などにより、前年度に比べ4億5902万7千円(3.5%)増加。

収支差引は、10億5725万7千円の純損失で、前年度の純損失2億9045万6千円を大きく超え、繰越欠損金は117億4847万円になりました。

### 庄内病院に対する市一般会計の負担金は、3条会計(病院事業収支)で7億8211万1千円

### 水道・下水道

水道事業決算では、給水量は1562万立方メートルで前年度より2.5%減少し、有収水量も1316万立方メートルで2.0%減少。

### 収益的収支は、収入が32億4827

万9千円、支出が29億3756万6千円で、3億1071万3千円の純利益です。

水道事業は、令和8年度からの水道事業の統合に向けて準備が進められています。

## 9月議会の請願 「核禁条約締結国会議へのオブザーバー参加」の公明含む5会派が紹介議員に

鶴岡市議会9月定例会は8月27日開会され、9月19日まで開かれます。

市民からの請願は、「核兵器禁止条約締結国会議へのオブザーバー参加を早急に実現することを求める意見書の提出に関する請願」

補償制度の実現を求める意見書(案)は、草島進一議員と菅井巖議員が提出し、会派間で調整されます。

陳情は、「電磁波を悪用(エレクトロニクス・ハラスメント)、電磁波の人体と健康への悪影響を訴え、電磁波に対する法整備・法改正を国に求める。」陳情(NP Targeted Individua

Is Japan代表・押越清悦・東京都八王子市)が、公明党を含む5会派から名を連ねています。

公明党はこれまで、核兵器禁止条約に関する請願には、採決では退席し棄権していましたが、今回はなぜか態度を変えました。

議員提出の意見書案では、「農業の再生と食料安全保障の確立に向けた実効性のある戸別所得

下水道事業決算では、総処理水量は1416万立方メートルで前年度より3.8%増加し、有収水量は1165万立方メートルで0.7%の減少。

収益的収支は、収入が53億8098万6千円、支出が53億8050万9千円で、47万7千円の純利益です。

<p>建築課札結果 ( ) 内は予定価格</p> <p>8月21日入札分</p> <p>・市消防署櫛引分署屋根改修工事(上山添字文栄78-1)(入札24業者うち20業者辞退)</p> <p>有賀板金工事(有) 6,800,000円(6,900,000円) 工期~11/28(落札率98.55%)</p>	<p>8月20日入札分</p> <p>・市集落排水事業 東栄地区処理施設機械設備改修工事(樺地内)(入札4業者)</p> <p>(有)山東設備 23,100,000円(23,570,000円) 工期~8/3/31(落札率98.01%)</p>
<p>下水道課入札結果 ( ) 内は予定価格</p>	

# 9/20 土曜日

## 日本共産党 演説会

9月28日西、10月5日投票で鶴岡市議会議員選挙が行われます。定数28を40人で争う大激戦りの中、日本共産党は候補4人の必勝をめざします。日本共産党の公明と改革の政策、実現を求めます。ぜひ、ご参加ください。



市議会議員  
長谷川つよし



市議会議員  
坂本まさえ



市議会議員  
菅井いわお



市議会議員  
加藤こういち



参議院議員  
いわぶち友

◎9月20日(土) 午後2時

◎出羽庄内国際村

主催 日本共産党鶴岡地区委員会 電話 0235-22-3313